



“たいせつ”がギョッと。

阪神電車
HANSHIN ELECTRIC RAILWAY

阪神電気鉄道株式会社
HANSHIN ELECTRIC RAILWAY CO., LTD.

〒553-8553

大阪市福島区海老江1丁目1番24号

<http://www.hanshin.co.jp/>

NEWS RELEASE

経営企画室(広報担当)

2016年10月27日

インドネシアにおける複合開発事業への参画について ～海外での分譲住宅開発に初参画～

阪神電気鉄道株式会社(本社:大阪市福島区、社長:藤原崇起)では、三菱商事株式会社、株式会社海外交通・都市開発事業支援機構(以下、別紙において「JOIN」といいます。)等と構成される合弁会社に出資することで、インドネシアにおける不動産デベロッパー最大手の一つである Sinarmas Land 社(以下、別紙において「SML社」といいます。)傘下の Bumi Serpong Damai 社(以下、「BSD社」といいます。)と共同で実施する分譲住宅開発を中心とした複合開発事業(以下、「本プロジェクト」といいます。)に参画することとしましたので、お知らせします。

本プロジェクトは、ジャカルタ中心部から南西約25kmのジャカルタ郊外で、近年はイオンモール等の大型商業施設も進出するなど、BSD社が約5,950haの広大な土地を生かして大規模開発を進めている Bumi Serpong Damai 地区(※)の一角、約19haの敷地で、戸建て住宅及び商業施設(店舗付き住宅)計約1,000戸を供給しようとするものです。

※ BSD地区はイオンモールのほか、国内最大級のコンベンションセンター等の都市機能が順次開発・整備されており、ジャカルタ郊外において最も注目されているエリアの一つです。

当社は、これまで、沿線を中心とした関西圏及び首都圏において、「ハピアガーデン」のブランド名で戸建て住宅分譲事業を展開していますが、少子高齢化や人口減少等により、国内の需要の先行きが不透明である中、今回の参画を通じて、今後の海外展開の可能性について、検討を行おうとするものです。

阪急阪神ホールディングスグループでは、中長期的な視点に立って企業価値の向上を図っていくため、中期経営計画における事業戦略の一つに「新たなマーケットの開拓」を掲げており、最近では、阪急不動産株式会社が、ベトナム・ホーチミンで分譲マンションを行っているほか、インドネシアとシンガポールにおいて、当社を含むグループ各社が共同で物流倉庫を建設するなど、積極的に海外進出を図っており、今回の取組みも、その一環として行うものです。

本プロジェクトの概要は、別紙のとおりです。

以上

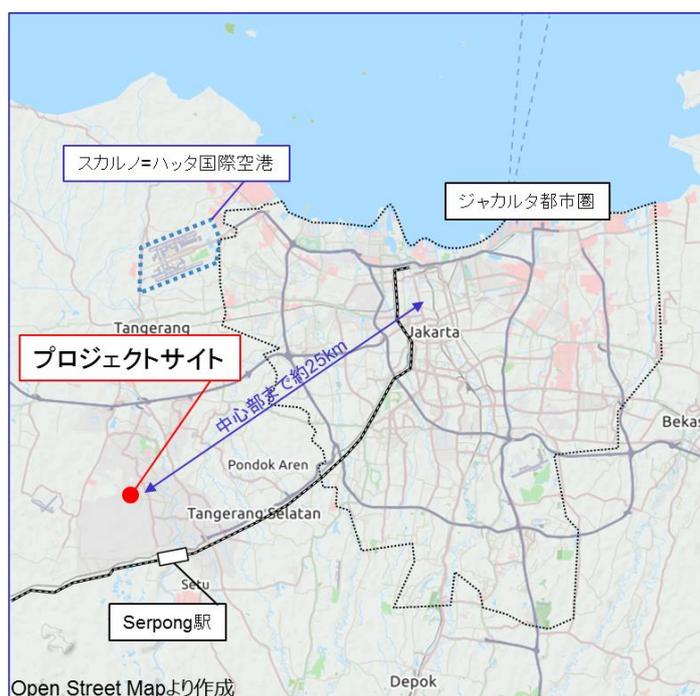
【本プロジェクト概要】

- 敷地面積 : 約 19ha
- 総戸数 : 戸建住宅及び商業施設(店舗付住宅)計約 1,000 戸
- スケジュール : 着工・販売開始 2017 年から順次(予定)

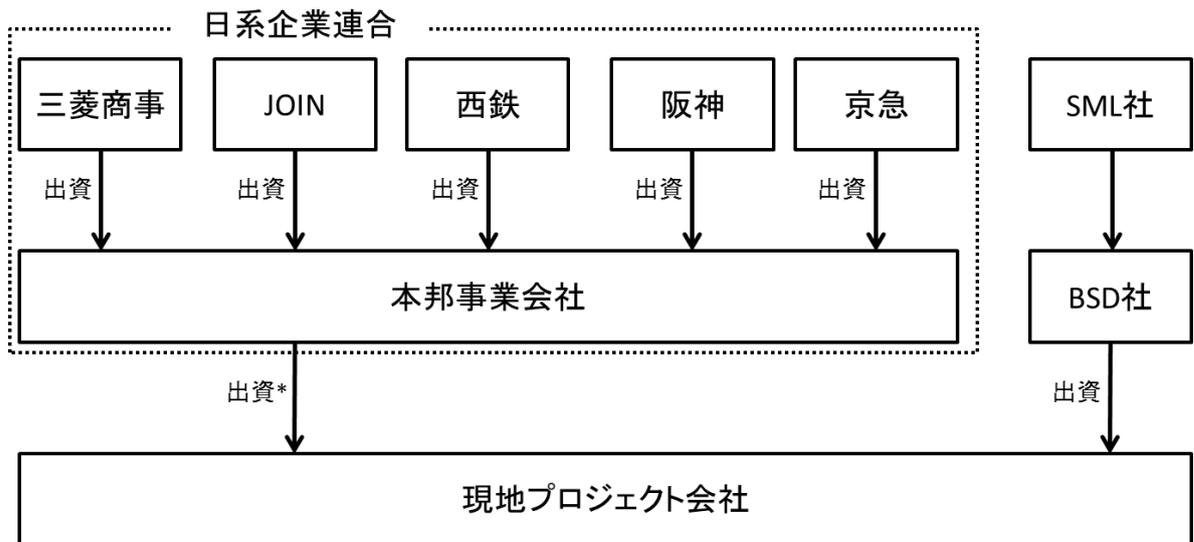
【完成イメージ】



【位置図】



【事業スキーム】



*本邦事業会社による出資は過半。

(注) 「西鉄」は西日本鉄道株式会社、「京急」は京浜急行電鉄株式会社です。

以上